

子どもたちの育ち・学びを支える「地域学校協働活動」の推進について



自由民主党西東京市議団 中川 清志

問 新学習指導要領では、*コミュニティスクール(CS)と地域学校協働活動の一体的推進が重要。教育長の見解・市長部局のかかわりは。

答 教育計画では、地域と学校の連携・協働の組織的・継続的仕組み構築を進めると位置づけている。かつて、子どもたちは地域社会の中で大人や友人と交流し、その一員として自覚し、社会性を培ってきた。地域と学校が連携・協働して行う地域学校協働活動について、令和2年6月に中間まとめが提言され、地域住民をはじめ、PTA、NPO、民間企業、団体機関等の幅広い人材の参画が考えられるとしている。

地域全体で子どもたちの学びや成長を支え、活発に活動するために、地域と学校の連絡・調整が重要。それを地域住民が行うことで、教員が

授業の教育活動に専念する環境の充実にもつながる。学校を核とした地域づくりを推進するため、地域学校協働活動とあわせてCSの導入に向けた検討を行っている。実施には学校を支援していく取り組みも必要である。

市民協働推進センターゆめこらぼ等で団体、人材紹介などについて連携できることがある。



市民の多様な活動とまちづくりの拠点である市民協働推進センターゆめこらぼ

行政のデジタル化を加速せよ！新しい生活様式に対応し、災害に強い西東京市を実現！！



自由民主党西東京市議団 山田 忠良

問 令和3年度の予算編成は非常に厳しい状況が予想される。今後の財政運営について市の考え方は。

答 新型コロナウイルスの影響によりGDPは戦後最大に落ち込み、市税などへの影響は避けられない。これまで以上に選択と集中を徹底し、真に必要な事業を見極めていく。

問 行政のICT化、テレワーク導入は喫緊の課題だ。市の考え方は。

答 国の動向に合わせ、RPAやAIの活用、テレワークの導入、行政のデジタル化を積極的に進め、市民サービスの向上を目指していく。

問 GIGAスクール構想は次世代を生きる子どもたちにとって重要な施策だ。どのように進めていくのか。

答 本市の地域性や学校の実態を十分に反映し、1人1台のタブレットを活用することで子ども達の個性を

最大限発揮できるよう進めていく。**問** 台風シーズンを前に感染症と自然災害の複合災害への備えが重要だ。市の取り組みは。

答 大型化する災害への対応として、9月にタイムラインを作成し、市報やHPで公開した。感染症対策として、避難施設・管理運営ガイドラインを作成し、市職員による避難所開設訓練も行っている。



市職員による自主避難所開設訓練

介護保険の特別徴収の誤りは遺憾である 誠心誠意、原因の究明と再発の防止を！！



自由民主党西東京市議団 浜中 のりかた

問 約4万2,000人に影響のあった介護保険の特別徴収の誤りについて、市長の責任を問う。

答 本市の行政責任者として重い責任を痛感しており、適正な時期にしかるべき責任の所在を明確にする。

意見 ミスや間違いは誰にでもある。大切なのは原因の究明と再発の防止、責任の取り方である。建設的に冷静に、どうすればミスが防げるのかという観点で対処していくことが大切である。

養育費不払いの心配がないように保証契約制度補助の周知徹底を！！

問 ひとり親支援と養育費確保支援事業について問う。

答 子育てをしているひとり親世帯の方が養育費立てかえ保証契約を円滑に利用できるように保証料の一部を補助するものである。これは養育

費の滞納があった場合に一定期間安定的に保証会社が支払いを保証してくれる制度である。

石神井川の溢水対策を！！

問 東京都が進めている地下貯水池の進捗状況について問う。

答 南町調節池から青梅街道、伏見通りを経由して、武蔵野中央公園を結ぶ延長1.9kmのトンネル式地下調節池の整備を予定している。



石神井川の溢水地となる南町調節池(柳沢児童広場)

新型コロナウイルス感染症 正しく恐れましょう！乗り切りましょう！



自由民主党西東京市議団 富永 雄二

問 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により経済環境が悪化しているが、令和3年度の予算編成についての現在における本市の見解を問う。

答 令和3年度予算は非常に厳しい局面を迎える可能性がある。引き続き事業の必要性について再検証していく。

問 今定例会でGIGAスクール構想についての予算が上程された。動画他学習コンテンツの導入についてどのように進めていくのかを問う。

答 子どもたち一人一人の学びの個別最適化を図れるように家庭学習での活用も視野に入れながら、教育環境づくりを推進していく。

問 公民館の運営について問う。

答 公民館等では、市民の学習、文化活動が活発に行われている。

意見 社会変化により公民館には地

域づくりや地域交流の活動が求められている。本市の公民館については、多様化した市民の皆様のニーズに合うように、そのあり方を考える時期にきているのではないかと考える。

その他質問

◇新型コロナウイルス感染症についての認識

◇本市の事務執行の改善策についての見解等



老朽化した文理台公園のリニューアル 市内公園中、最優先で行うべき！



自由民主党西東京市議団 保谷 なおみ

問 季節性インフルエンザの流行期を迎える今、新型コロナウイルスとダブルの状況乗り越えるために、PCR検査の拡充が必要と考えるが、国や東京都の動向を問う。

答 去る8月28日、国はPCR検査体制を抜本的に拡充する方針を示した。具体的には、今後、国から都道府県に対して指針を示し、地域における外来診療の医療提供体制と検体採取体制を踏まえ、早期に新たな検査体制整備計画を策定するように要請すると聞いている。

問 文理台公園のリニューアルについて、現在の進捗状況を問う。あわせて、東町テニスコートの代替施設の検討状況についても問う。

答 指定管理者制度を効果的に行うためには、公園内に拠点施設などの整備が必要だと調査している。一方、

文理台公園敷地の用途地域の大部分が第一種低層住宅専用地域となっており、拠点施設を整備する際の課題の1つとなっている。また、文理台公園のリニューアルの中で、東町テニスコートの代替施設を設置することは、庁内で検討を行っている。

意見 課題があることは認識するが、文理台公園の老朽化は著しい。リニューアルは、市内公園の中で最優先。



市立明保中学校の北側に位置する文理台公園

新しい生活様式に向けた制度



自由民主党西東京市議団 酒井 ごう一郎

医師会発熱外来

問 感染症の拡大が続く中、医療体制を確保することは非常に重要だ。医師会が運営する発熱外来への支援を継続することの意義は大きい。かかりつけ医との連携は。

答 かかりつけ医の判断により発熱外来を受診できる。かかりつけ医がない場合は近隣の病院に相談するか、直接発熱外来に相談してほしい。**意見** 発熱外来がある西東京市の意義は大きい。引き続き医師会との連携で受診体制の確保を進めてほしい。

ママパパ応援事業

問 妊娠された方に寄り添う事業はコロナの状況だからこそ重要だ。妊婦の方の相談への対応は。

答 コロナ感染症を契機に不安な声を多く受けている。両庁舎においてたまご面接として新たな相談体制を

整備し、電話面接も実施した。**意見** 市内事業者との連携も行われていることで出産をきっかけとしたかわりにはまちづくりの中でも重要だ。さらに連携を広げてほしい。

その他質問

◇新型コロナ対策事業者支援
◇商店街ブランドデザイン事業
◇農業振興
◇都立東伏見公園



たまご面接(妊婦面接)をした方に配布される育児パッケージ

*コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)…学校と保護者や地域の方々がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組み。